

ぬり絵 好きな色で自由にぬってみましょう。



## 旧中埜家住宅(きゅうなかのけじゅうたく)

所在地 愛知県半田市天王町1丁目30番地の2

### 見学について

外観見学は年中無休で可。年に数回、建物内の公開日があります。  
※公開日についての詳細は、ホームページをご確認ください。

### アクセス

名鉄河和線「知多半田」駅から北へ徒歩5分  
JR武豊線「半田」駅から西へ徒歩10分

### 駐車場について

駐車場はありません。公共交通機関をご利用いただくか、  
周辺の有料駐車場をご利用ください。



「半田市」の位置を調べて、  
地図に★印を書いてみましょう。



旧中埜家住宅の  
ホームページを  
見てみましょう。

重要文化財旧中埜家住宅 検索

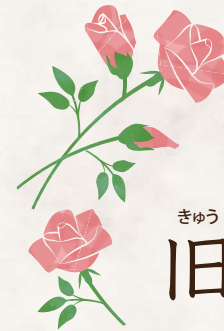
## 半田市立博物館

所在地 愛知県半田市桐ヶ丘4丁目209番地の1 電話番号 0569-23-7173

【開館時間】午前10時～午後6時 【休館日】月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、年末年始

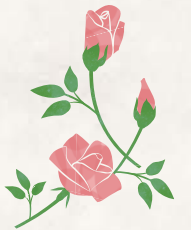
日にち 年 月 日

名前



# 重要文化財 旧中埜家住宅

子ども用リーフレット



メモ 気付いたことやわかったこと、感じたことなどを、自由に書いてみましょう。

半田市



### 明治の様子を今に伝える ～建物の特徴～

切り立ったとんがり屋根と大屋根、鱗のようなスレート瓦、柱の見える白い壁など、別荘の優雅な雰囲気をもった外観が素敵な建物ですが、文化財として評価されている主な特徴は次の3つです。

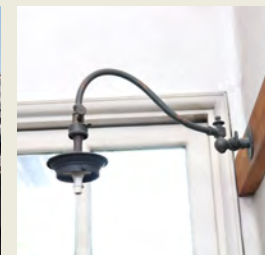
1. 建物の形が明治に建てられた時とほとんど変わっていないこと。
2. 東海地方で活躍した鈴木禎次教授の設計した建物であること。
3. 当時の貴重な材料(リノリウム、壁紙)やガス灯、窓ガラスなどが残っていること。



自然の石でできた瓦  
(スレート)



壁から柱が見えるデザイン  
(ハーフティンバー)



ガス灯の設備

### 明治時代の珍しい洋風建築

旧中埜家住宅は、今から100年以上前、明治44年(1911年)に建てられた、中埜半六さんという人物の別荘です。

中埜半六家は、地元半田の大変な財産家で、「半六」という名前を代々引き継いでいました。この住宅は10代目の半六さんがドイツの山荘をモデルにしたといわれています。



昭和19年(1944年)頃の様子。手前に見えるものは、名鉄の線路です。

明治時代の建物の様子がよく残されているため、半田市や愛知県だけではなく、日本のなかでも重要な建物と評価され、いつまでも大切に守っていく必要があることから、昭和51年(1976年)に国の重要文化財に指定されました。

### 学校にもなった半六さんの別荘

昭和25年(1950年)になると、11代目の中埜半六さんが「桐華洋裁学校」という女性のための学校を設立。別荘は、学校の本館として利用されることになりました。



桐華洋裁学校の頃の様子。(画像提供:公財桐華学園)



### 私たちの宝物「文化財」

文化財とは、私たちの先祖が長い時間をかけて守り伝えてきた貴重な財産という意味の言葉で、その種類は、建物、仏像、絵画、お祭り、遺跡、貴重な動物や植物など様々です。

これは、私たちが郷土の歴史や文化を正しく理解したり、生活を豊かにしたりするための「宝物」と呼べるものです。

半田市にも、旧中埜家住宅を始めとして、多くの貴重な文化財が残されています。

私たちも、次の世代の人たちに、この大切な「宝物」を届けるため、文化財に触れ親しみながら守り伝えていきましょう。